

お知らせ

情報提供先 : 島根県政記者会

大橋川天神川水門ゲート新設工事において 大型クレーンによりゲートが設置されます！

国土交通省が行っております、斐伊川・神戸川における治水対策(3点セット)のうち上流の尾原ダム・志津見ダムは平成23年度に完成し、中流の斐伊川放水路の建設と神戸川の拡幅も、平成25年6月に竣工し、先日の9月3日の降雨時に初めての分流を行い、斐伊川下流と宍道湖への水位低減を行いました。

現在、3点セットの1つの大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤の整備を進めておりますが、大橋川改修の1つとして天神川水門(ゲート)の新設工事を行っております。

この「大橋川天神川水門ゲート新設工事」で2門設置するゲートのうち、1門分のステンレス鋼製の扉体が大阪府堺市の工場で作成完了し、大橋川の現場まで輸送されて、水門の設置箇所へ大型クレーンにより据付けられます。また、天神川水門は、「ライジングセクタゲート」という新しい技術を導入した形式で、全国的にも12例ほどしかなく、中国地方では岡山県にある百間川河口水門に次いで2例目ですが、山陰地方では初の形式となります。

今後は、11月18日の土木の日などにおいて見学会等を開催する予定としております。

記

作業日時: 平成25年 9月12日(木) 10:00~10:30(予定)

但し、強風等による天候不良の場合は中止します。

作業場所: 松江市袖師町地先(県立美術館となりの天神川水門現場内)

ゲート形式: ライジングセクタゲート

門数: 2門(うち今回据付は1門分)

寸法: 純径間(幅)16.4m×有効高(高さ)3.5m

重量: 約22t(扉体中央部)

※現場状況は別添写真のとおりですが、安全確保のため現場内は立入禁止としております。

取材等については白湯公園内南側の展望台からお願いいたします。

問い合わせ先



国土交通省

国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

副所長(技術)

【担当】 施設保全対策官

電話: 0853-20-1760(直通)

さとう あつし

佐藤 敦司

おおにし たかひろ

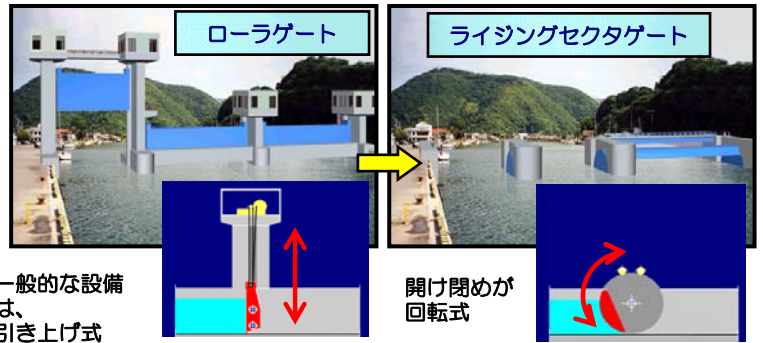
大西 隆弘

工事の概要説明

1.はじめに

天神川水門は斐伊川水系天神川流域の浸水被害防止を目的として設置します。水門の形式には「ライジングセクタゲート」を採用しています。この形式の特徴は、土木構造を低く抑えることにより安定した構造であることと、景観に配慮した設計となっています。

中国地方としては2例目であり、山陰地方としては初の形式となっています。



2.設備の仕様および構成

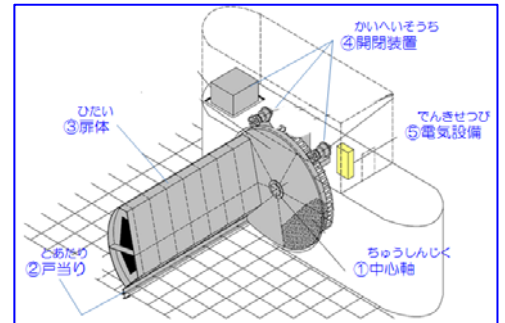
水門設備の仕様および機器構成は以下のとおりとなっています。

【主要仕様】

形式	ライジングセクタゲート
数量	2門
純径間	16.4 m
扉高	3.5 m
扉体半径	2.25 m
水密方式	前面四方ゴム水密
揚程	3.5m
開閉方式	油圧モータラック式（片側駆動）
開閉速度	約0.3 m/min（鉛直開度平均）
操作方式	機側および遠方
電源	3相200V60Hz, 単相100V60Hz

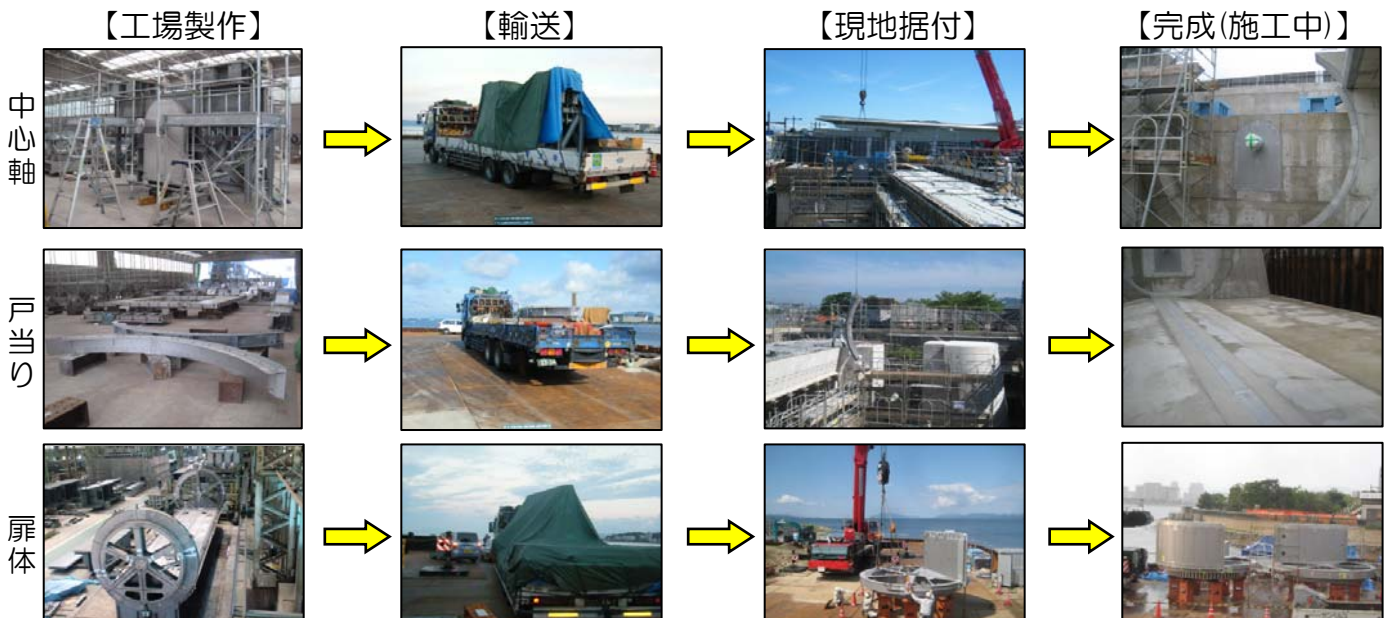
【設備の構成】

- ①中心軸：ここを中心にゲートが動きます
 - ②戸当り：水を止めるための埋設された鉄板です
 - ③扉体：水の力に耐えるための鉄の箱です
 - ④開閉装置：ゲートを油圧で動かします
 - ⑤電気設備：ゲートを動かす操作を行います
- ※ 鋼材はステンレス鋼を使用しています



3.工事の流れ

水門設備は、製作工場で作られた製品ブロックを輸送可能な大きさに分割してトラック等で現地へ運搬し移動式クレーンにて組立・溶接を行います。

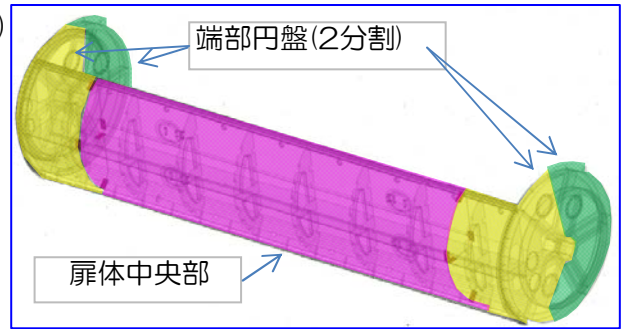



4.現在の進捗状況





天神川水門は2門ありますがそのうちの1門(右岸ゲート)の据付工事は順調に進んでおり、扉体の組立を行っています。

扉体は、大きく分けて扉体中央部と端部円盤に分けられています。円盤は輸送制限上2分割する必要があるため現場にて地組立を行います。

扉体の組立作業は以下の予定で行います。



8/26 ~ 8/31	9/2 ~ 9/9	9/10 ~ 9/11
端部円盤の地組立	端部円盤の溶接	端部円盤の起立・中心軸への挿入
 <p>分割ブロックの搬入</p>  <p>分割ブロックの荷受け</p>	 <p>組立完了</p>  <p>端部円盤の溶接</p>	 <p>端部円盤の相吊り・起立</p>  <p>中心軸への挿入</p>

9/12	9/13 ~ 9/28
中央シェル部の搬入・吊り込み	中央シェル部の組立・溶接
 <p>ブロックの輸送(工場)</p>  <p>ブロックの吊り込み</p>	 <p>ブロックの組立・調整</p>  <p>ブロックの溶接</p>

※ 赤枠の写真は、別工事の写真です。(百間川河口水門)

扉体の組立作業に使用する移動式クレーンは、最大で170t吊の大型クレーンを使用します。
円盤の起立作業は相吊り作業となるため補助に65t吊クレーンを使用します。

5.今後の作業

扉体の組立作業が完了したら開閉装置、電気設備の据付作業を行い、その後、ゲートの試運転を行います。(予定：10/1~8)

安全第一で作業に取り組みますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



完成イメージ

現場見学展望台のご案内

